

〔国際会議〕

申 請 者	神戸大学大学院 システム情報学研究科 特命助教 梶本 真佑	2025011
研究集会名	The 4th International Workshop on Empirical Software Engineering in Practice	
開催期間	平成 24 年 10 月 26 日～10 月 27 日	
開催場所	大阪大学中之島センター	
申請者の役割	General Chair	

概 要：

The 4th International Workshop on Empirical Software Engineering in Practice を大阪・中之島センターで開催した。本会議は、実践的及び経験的な見地からより良いソフトウェア開発の実現を目指すエンピリカルソフトウェア工学に関するワークショップである。ソフトウェアが誕生して約 60 年、「いかにうまく、いかによりソフトウェアを作るか」という問いに対する議論は現在でも絶えない。エンピリカルソフトウェア工学は、データ工学的な観点からこの問いに対する答えを得る方法である。データという明確な根拠から得られた経験的な知見を活用することで、高効率かつ高品質なソフトウェアの実現が期待できる。

本会議では、当該研究分野の発展、及び当分野の若手研究者の養成を大きな目標として掲げている。この目的のために会議の実行委員会を 35 歳以下の若手研究者を中心に構成しており、各実行委員に対して会議の運営経験を始め、海外研究者との共同作業の場を与えることが出来た。また会議参加の修士・博士課程の学生に対しても大きな刺激を与えることが出来た。本年度は過去最大となる計 66 名の参加を集め、参加者同士での非常に活発な議論が行われた。基調講演ではカナダ・ビクトリア大学から Dr. Daniel M. German 准教授を招待し、ソフトウェア開発リポジトリに対する最新のマイニング技術についての講演を頂いた。近年の IT 社会においてソフトウェアの社会的責務は拡大する一方である。本会議による本研究ドメインの促進と活性化は将来の高度 IT 社会の発展に大きく貢献するだろう。